

平成 28 年度 第3回 新河岸川流域川づくり連絡会 議事要旨

平成 29 年 1 月 18 日 (水) 朝霞市 産業文化センター 研修室 会議室 第 1

I. 平成 28 年度第 2 回新河岸川流域川づくり連絡会議事要旨

平成 28 年度第 2 回新河岸川流域川づくり連絡会議事要旨が承認された。

II. 新河岸川流域川づくり連絡会活動協議事項

第 12 回川でつながる発表会としんぶん里川 82 号について、連絡会メンバーとの意見交換が行われた。

■主な意見等

- ・川越市福原中学校は、川や水に関する活動に力を入れている学校であると聞いており、展示物等も作成しているので、今後も継続した関係が構築できると思われる。
- ・現地見学において、白子熊野神社等の地権者には、発表会前に立入許可をとった方が良いと思われる。
- ・交流会で実施するパネル展示に関する連絡会資料のイメージは、展示の方法や準備するボード等の情報をもう少し詳しく明記してほしい。

■決定事項

- ・白子川と流域の水環境を良くする会、不老川流域川づくり市民の会とパネル展示物の大きさを調整し、会場レイアウトに反映する。
- ・現地見学会の見学ポイントにおいて、私有地等で事前に調整できていない地権者に対しては、発表会前までに立入許可をとる。
- ・発表会のコメンテーターについて、前半は、黒目川流域川づくり懇談会、川づくり・清瀬の会、後半は、白子川と流域の水環境を良くする会、和光自然環境を守る会が担当する。
- ・里川 82 号について、事務局が提示した中面を発表会の開催報告、特集を和光市における治水・水循環に関わるポイント紹介とする構成案で作成することで了解が得られた。

III. 勉強会

前回勉強会に引き続き、流域誌に関するワークショップを実施した。勉強会の冒頭では、法政大学水文地理学研究室及び事務局から、里川 81 号の特集記事を活用して、現在のとりまとめ状況や将来のイメージに関する説明が行われた。

■ワークショップで出された主な意見等

- ・1950 年代頃の不老川上流部では、川の水を利用して酒造りをしていたと聞いた。
- ・現在の新河岸川本川でも、蛇行していた当時の景観を見ることができる場所がある。
- ・1970 年代頃の空堀川では、川のおいが気になった。
- ・最近、九十川付近にある伊佐沼で、若い夫婦が土を掘り、野蒜をとっていた。
- ・1985 年頃の白子川は自然護岸であり、洪水被害により下流部の牧場の牛が大量に死んだ。現在は 3 面コンクリート張りになり水害は減ったが、昔生息していた虫やツバメがいなくなった。
- ・黒目川（朝霞市）にオオタカが住んでいたが、国道 254 号の工事後にいなくなり、別の場所で発見された。移り住んだのではないかと思う。
- ・旧米軍朝霞キャンプの設置や鉄道の建設等、地域に大きな影響を与える出来事が発生した後、川のように変化があるように感じられる。

IV. 情報交換

- ・平成 29 年 1 月 11 日 (水) ~ 2 月 19 日 (日) 荒川知水資料館 (amoa) 2 階企画展示スペースで、荒川流域にコウノトリが再び羽ばたくために、荒川で実施している取り組みを紹介している。
- ・平成 29 年 1 月 15 日 (日) に入間市内で、身近な自然の観察会が実施された。
- ◆平成 28 年度第 4 回新河岸川流域川づくり連絡会開催について
- ・平成 28 年度第 4 回新河岸川流域川づくり連絡会は、3 月上旬の開催を予定する。